

## 一般講演に関するお願い

講演はすべて、パワーポイントで作成したファイルを液晶プロジェクターにより映写する方法を採用します。機材および方法は、以下のとおりです。

- ・ Microsoft PowerPoint2003 for Windows がインストールされたノートパソコン（OSはWindows XPです）を会場に用意します。他のソフトは使用できません。
- ・ USBメモリーに保存したファイルをご持参ください。
- ・ 各会場前の受付にノートパソコンを用意します。そこで作成したファイルが正常に作動することを確認後、USBメモリーを受付に提出してください。講演終了後、返却致します。
- ・ USBメモリーの提出は、少なくとも講演の1時間前にお願い致します。受付は8時30分から開始します。9時30分以前の講演に関しては、発表前日までに、組織委員会にファイルの提出をお願い致します。
- ・ 12分の発表時間に適したパワーポイントの画面数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントに留意してください。
- ・ 文字化が無いように、文字には一般的なフォント（MS明朝、MSゴシック、Times New Roman、Helvetica等）をご使用ください。
- ・ 大容量のファイルは、トラブルの原因になりますので避けてください。
- ・ 操作は、映写係がします。ご自分では操作できませんので、アニメーションなどをご使用いただかないようお願い致します。
- ・ ファイルの受付時に映像の不具合が見つかった場合、ご自身で対処していただくこととなります。会場に、修正用のパソコンは用意致しません。

## 一般講演

講演 12 分 ( 1 鈴 10 分、2 鈴 12 分 ) 討論 3 分 ( 3 鈴 15 分 )

4 月 3 日 ( 火 )

---

### A 会場 ( 講義棟 0026 番教室 )

---

( 9 : 00 ~ 12 : 00 )

- 9 : 00 A301 簡便な Alkylphenol Nonaethoxylate 合成とその微生物分解  
石本淑恵<sup>1</sup>, 市来弥生<sup>1</sup>, 田村廣人<sup>2</sup>, 吉川博道<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>福工大 院 生物有機, <sup>2</sup>名城大 院 環境微生物)
- 9 : 15 A302 アルキルフェノールポリエトキシレート分解微生物の新規スクリーニング法の開発  
市来弥生<sup>1</sup>, 荒巻 忍<sup>1</sup>, 寺本華奈江<sup>2</sup>, 佐藤浩昭<sup>2</sup>, 田村廣人<sup>3</sup>,  
吉川博道<sup>1</sup> (<sup>1</sup>福工大 院 生物有機, <sup>2</sup>産総研 環境管理,  
<sup>3</sup>名城大 院 環境微生物)
- 9 : 30 A303 水田土壌より単離したシメトリン分解性 *Nocardioides* sp. の特徴  
薩摩孝次, 増田 稔, 佐藤 清 ( 残留農薬研究所 化学部 )
- 9 : 45 A304 水田土壌より単離したシメトリン分解性 *Nocardioides* sp. によるトリアジン系除草剤の分解  
薩摩孝次, 増田 稔, 佐藤 清 ( 残留農薬研究所 化学部 )
- 10 : 00 A305 新規複合微生物系による塩素化及びメチルチオ化トリアジン農薬の同時分解  
( 2 ) 新規分解菌 MTD22 株を用いた複合分解菌集積炭化素材の開発と評価  
山崎健一<sup>1,2</sup>, 高木和広<sup>1,2</sup>, 原田直樹<sup>3</sup>, 藤井邦彦<sup>4</sup>, 内村 泰<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東農大, <sup>2</sup>農環研, <sup>3</sup>興和総研, <sup>4</sup>WDB)
- 10 : 15 A306 新規微生物叢の同定・定量法を用いた有機性廃棄物中の抗生物質耐性菌発生の実態解明  
渡邊克二<sup>1</sup>, 田中章弘<sup>1</sup>, 薬師堂謙一<sup>1</sup>, 田村廣人<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>九州沖縄農業研究センター, <sup>2</sup>名城大学農学部)
- 10 : 30 A307 農薬による影響評価のための河川モデル生物膜の構築 ( 第 2 報 )  
除草剤アトラジンがモデル生物膜の形成・微生物群集構造に及ぼす影響  
林 昌平, 井藤和人, 巢山弘介 ( 島根大学 生物資源 )
- 10 : 45 A308 Degradation rates of respiratory quinones (menaquinone-8 and ubiquinone-8) in soil at different temperature  
劉 豊茂<sup>1,2</sup>, 杉浦隆明<sup>2</sup>, 梶田佳揮<sup>2</sup>, 斎藤克敬<sup>3</sup>, 吉田奈央子<sup>4</sup>,  
片山新太<sup>2,3,4</sup>  
(<sup>1</sup>中国農業大学応用化学部, <sup>2</sup>名古屋大学大学院工学研究科,  
<sup>3</sup>生命農学研究科, <sup>4</sup>エコトピア科学研究所)

- 11:00 A309 Investigating the leaching of pesticide using micro paddy lysimeter  
 ○Dang Thi Tuyet NHUNG<sup>1</sup>, Thai Khanh PHONG<sup>1</sup>, 渡邊裕純<sup>1</sup>,  
 鈴木創造<sup>1</sup>, 川端良子<sup>1</sup>, 高木和広<sup>2</sup>, 石原 悟<sup>3</sup>, 岩船 敬<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>東京農工大学, <sup>2</sup>農業環境技術研究所, <sup>3</sup>農薬検査所 )
- 11:15 A310 Concentrations of sprayed tricyclazole in water of paddy lysimeter  
 ○Thai Khanh PHONG<sup>1</sup>, Dang Thi Tuyet NHUNG<sup>1</sup>, 渡邊裕純<sup>1</sup>, 高木和広<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>東京農工大学, <sup>2</sup>農業環境技術研究所 )
- 11:30 A311 光異性化および代謝分解を考慮した PADDY モデルの開発  
 除草剤ピリミノバックメチルへの適用  
 稲生圭哉<sup>1</sup>, 水谷浩之<sup>2</sup>, 與語靖洋<sup>1</sup>, 堀尾 剛<sup>1</sup>, 石原 悟<sup>3</sup>, 池田光政<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>農環研, <sup>2</sup>クミアイ化学 生科研, <sup>3</sup>農薬検 )
- 11:45 A312 除草剤ピリミノバックメチルの水田における挙動予測  
 ○水谷浩之<sup>1</sup>, 稲生圭哉<sup>2</sup>, 池田光政<sup>1</sup>  
 ( <sup>1</sup>クミアイ化学 生科研, <sup>2</sup>農環研 )

---

B 会場 ( 1 3 号館 1 3 2 1 番教室 )

---

( 8 : 45 ~ 12 : 00 )

- 8:45 B301 蛍光プローブ法を用いた殺菌剤耐性変異検出系の構築とその応用  
 坂野真平<sup>1</sup>, 鈴木智一<sup>2</sup>, 植草秀敏<sup>3</sup>, 岡田清嗣<sup>4</sup>, 藤村 真<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>東洋大 植機セ, <sup>2</sup>東洋大 生命, <sup>3</sup>神奈川農技セ,  
<sup>4</sup>大阪食とみどり総セ )
- 9:00 B302 ストロビルリン系薬剤耐性菌のボスカリド感受性  
 石井英夫, 西村久美子 ( 農環研 )
- 9:15 B303 各種薬剤のイネいもち病菌に対する薬剤感受性検定方法の検討とモニタリング結果  
 中村 巨宏, 福田 英夫, 内田 景子, 宗 和弘, 武田 敏幸  
 ( JA 全農 営農 技術センター )
- 9:30 B304 抵抗性誘導剤プロベナゾールは多数のイネ遺伝子の発現を誘導する  
 岩田道顯, 梅村賢司, 三富正明 ( 明治製菓 生物産業研究所 )
- 9:45 B305 いもち病耐性コシヒカリ BL に対するシメコナゾール粒剤の雑病害防除効果  
 玉川 靖, 小原敏明, 津田幹雄, 一ノ瀬礼司  
 ( 三共アグロ 農業科学研究所 )
- 10:00 B306 哺乳動物レチノイン酸結合タンパク質のカイコにおけるホモログの遺伝子  
 解析と機能に関する考察  
 塩月孝博<sup>1</sup>, 丹羽隆介<sup>2</sup>, 篠田徹郎<sup>1</sup>, 片岡宏誌<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup>農業生物資源研, <sup>2</sup>東大新領域 )

- 10 : 15 B307 カイコから単離したオクトパミン受容体 (BmOAR1) とチラミン受容体 (BmTAR1) のリガンド応答  
濱崎智浩<sup>1</sup>, 黄 佳<sup>1</sup>, 太田広人<sup>2</sup>, 尾添嘉久<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>島根大 生資科 生命工, <sup>2</sup>生物研 制御剤)
- 10 : 30 B308 Cloning and molecular characterization of a *Bombyx mori* -adrenergic-like octopamine receptor  
陳 曦<sup>1</sup>, 太田広人<sup>2</sup>, 尾添富美代<sup>1</sup>, 尾添嘉久<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>島根大 生資科 生命工, <sup>2</sup>生物研 制御剤)
- 10 : 45 B309 昆虫の興奮性および抑制性リガンド作動性イオンチャネルに対するスピノシン類の作用  
平田晃一<sup>1</sup>, ジェフリー G. スコット<sup>2</sup>, 尾添嘉久<sup>3</sup>, 松田一彦<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>近大農 応生化, <sup>2</sup>コーネル大 昆虫, <sup>3</sup>島根大 生資科)
- 11 : 00 B310 Structure-activity relationships of 1-phenyl-1*H*-1,2,3-triazole antagonists that display selectivity for  $\beta 3$  over  $\beta 1$  and  $\beta 2$  GABA receptors  
Mohammad Sayed ALAM<sup>1</sup>, 尾添富美代<sup>1</sup>, 黄 佳<sup>1</sup>, 松村文夫<sup>2</sup>, 尾添嘉久<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>島根大 生資科 生命工, <sup>2</sup>カリフォルニア大デービス校 環境毒物)
- 11 : 15 B311 プロチオホスオキシソンの脱エチル *S*-オキシドを生成するイエバエ GST6B の活性中心における必須のアミノ酸残基  
箕川 剛, 須恵雅之, 宮本 徹 (東京農大 生物応用化学)
- 11 : 30 B312 マウスにおける数種農薬とパーキンソン病との関係の実験的検証  
ロテノンの皮下注射とパラコートの腹腔内注射の影響  
林 勇, 本山直樹 (千葉大 園)
- 11 : 45 B313 マウスにおける数種農薬とパーキンソン病との関係の実験的検証  
ロテノン、パラコート、*cis*-パーメスリン混入餌長期投与の影響  
林 勇, 本山直樹 (千葉大 園)

---

C 会場 ( 1 3 号館 1 3 3 1 番教室 )

---

( 8 : 45 ~ 12 : 00 )

- 8 : 45 C301 プラシノステロイド生合成阻害剤 Brz を用いた新規情報伝達変異体のスクリーニング  
小松知之<sup>1,2</sup>, 中野雄司<sup>1</sup>, 松井 南<sup>3</sup>, 篠崎一雄<sup>3</sup>, 川出 洋<sup>2</sup>, 夏目雅裕<sup>2</sup>, 安部 浩<sup>2</sup>, 吉田茂男<sup>3</sup>, 辻本雅文<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>理化学研究所 中央研, <sup>2</sup>東京農工大学, <sup>3</sup>理研 PSC)
- 9 : 00 C302 イネにおいて病原菌の感染によって誘導されるトリプトファン代謝  
石原亨<sup>1,2</sup>, 橋本由美<sup>1,2</sup>, Joseph G. DUBOUZET<sup>2</sup>, 松田史生<sup>2</sup>, 西岡孝明<sup>1</sup>, 宮川 恒<sup>1,2</sup>, 若狭 暁<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>京大院農, <sup>2</sup>科技構 CREST, <sup>3</sup>東京農大農)
- 9 : 15 C303 Antioxidant and antibacterial properties of *Ficus microcarpa*  
Changwei AO, Anping LI, Tran Dang XUAN, 多和田真吉  
(琉球大学 農学部)

- 9 : 30 C304 Potential plant growth inhibitors from Cogon grass (*Imperata cylindrical* L.) roots  
Tran Dang XUAN, 友松正和, 多和田真吉 (琉球大学 農学部)
- 9 : 45 C305 Allelopathic potential of *Bidens pilosa* L.  
Farah DEBA, Tran Dang XUAN, 多和田真吉 (琉球大学 農学部)
- 10 : 00 C306 アマが生産する根寄生植物の新規発芽刺激物質  
謝 肖男<sup>1,2</sup>, 米山香織<sup>1</sup>, 楠本 大<sup>2</sup>, 栗田淳哉<sup>2</sup>, 山田洋一<sup>3</sup>, 竹内安智<sup>2</sup>, 米山弘一<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>東京農工大学 連合農学研究科, <sup>2</sup>宇都宮大学雑草科学研究センター, <sup>3</sup>宇都宮大学教育学部 )
- 10 : 15 C307 植物におけるピロロキノリンキノン (PQQ) の機能に関する研究  
野地なつ美<sup>1,2</sup>, 北畑信隆<sup>2</sup>, 中野雄司<sup>2</sup>, 郷田秀樹<sup>2</sup>, 吉田茂男<sup>2</sup>, 辻本雅文<sup>2</sup>, 杉山民二<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>2,3</sup>  
(<sup>1</sup>明治大学農学研究科, <sup>2</sup>理研, <sup>3</sup>東京大学 農学生命科学研究科)
- 10 : 30 C308 抗活性型ジベレリン抗体を用いた植物の免疫学的機能改変  
鈴木義人<sup>1</sup>, 水野 徹<sup>1</sup>, 山口五十磨<sup>2</sup>, 浅見忠男<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東大農生科 応生化, <sup>2</sup>前橋工科大工 生物工学科)
- 10 : 45 C309 ケミカルバイオロジー：ブラシノステロイドから未知物質へ  
浅見忠男<sup>1,2</sup>, 北畑信隆<sup>2</sup>, 中野雄司<sup>2</sup>, 辻本雅文<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東大院農生科, <sup>2</sup>理研中央研)
- 11 : 00 C310 アラビドプシス CYP85A2 は、2-デオキシ-7-オキサラクトン型ブラシノステロイド合成活性を持つ  
勝又卓己, 夏目雅裕, 安部 浩, 川出 洋 (東京農工大院 生命農学)
- 11 : 15 C311 新規カロテノイド生合成阻害化合物の酵素阻害活性： 3-置換オキシピラゾール-4-カルボキサミド誘導体  
片岡志乃<sup>1</sup>, 池田佑美<sup>1</sup>, 小川人土<sup>2</sup>, 大野竜太<sup>3</sup>, 長岡真帆<sup>3</sup>, 植田拓也<sup>4</sup>, 櫻井博志<sup>4</sup>, 堀 正大<sup>4</sup>, 平井憲次<sup>3</sup>, 佐藤幸治<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>玉川大院 農, <sup>2</sup>玉川大 農, <sup>3</sup>相模中央化学研究所, <sup>4</sup>科研製薬)
- 11 : 30 C312 アミノ脂肪酸の合成と生物活性  
田中 彩<sup>1</sup>, 石原康弘<sup>2</sup>, 今石浩正<sup>3</sup>, 滝川浩郷<sup>1</sup>, 三宅秀芳<sup>2</sup>, 佐々木満<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>神戸大 院 自然, <sup>2</sup>神戸大 農, <sup>3</sup>神戸大遺伝子実験センター)
- 11 : 45 C313 イソマンニドベンジルエーテルの合成と除草活性  
渡邊侑己, 田母神 繁, 野間正名 (秋田県立大学 生物資源科学部)

4月4日(水)

---

A会場(講義棟 0026番教室)

---

(9:00 ~ 12:00)

- 9:00 A401 活性炭利用によるキュウリ果実への土壌中ディルドリン吸収抑制効果の特性  
橋本良子 (東京都農林総合研究センター)
- 9:15 A402 キュウリ栽培における土壌残留性農薬の吸収抑制技術の開発  
沖積土壌における活性炭を利用した吸収抑制技術  
梁瀬正裕, 岡本真理 (山形県農業総合研究センター)
- 9:30 A403 残留性有機汚染物質を効率よく吸収するズッキーニにおけるダイオキシン類  
の吸収・蓄積  
乾 秀之<sup>1</sup>, 若井丈人<sup>2</sup>, 祇園景子<sup>1</sup>, 金 倫碩<sup>3</sup>, 殷 熙洙<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>神戸大 遺伝子実験センター, <sup>2</sup>神戸大院 自然科学研究科,  
<sup>3</sup>農環研 環境化学分析センター)
- 9:45 A404 施設軟弱野菜栽培における殺虫剤アセタミプリド粒剤の後作への残留  
望月 証, 清水克彦 (兵庫県立農林水産技術総合センター)
- 10:00 A405 農薬残留への現地混用による影響:  
キュウリ, ナス, ネギの農薬混用について  
成田伊都美, 清野英樹, 中畝 誠, 佐藤賢一, 中村幸二  
(埼玉県農林総合研究センター)
- 10:15 A406 保存中における柿試料中のマラソンの安定性: 代謝物の同定・定量  
荒井雄太, 小林裕子 (日植防研)
- 10:30 A407 NCI モード GC/MS およびデュアルカラム GC- $\mu$ ECD による農作物中残留農薬の  
多成分分析  
上野英二<sup>1</sup>, 椛島由佳<sup>1</sup>, 大島晴美<sup>1</sup>, 大野 勉<sup>1</sup>, 斉藤 勲<sup>2</sup>, 田村廣人<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>愛知衛研, <sup>2</sup>東海コープ, <sup>3</sup>名城大 農)
- 10:45 A408 遺伝子発現解析による農薬の内分泌かく乱性評価手法の開発  
中村 浩, 内田雅也, 武田 匡, 鏡 良弘, 草野輝彦  
(エコジェノミクス)
- 11:00 A409 ELISA 法による茶葉中の残留農薬同時分析  
畠山えり子, 阿久津千寿子, 梶田弘子, 菅原隆志, 高橋 悟, 佐々木陽,  
小向隆志 (岩手県環境保健研究センター)
- 11:15 A410 殺虫剤ニテンピラムのイムノアッセイキットの開発  
近藤美香, 山下 弘, 内ヶ島美岐子, 門脇 篤, 三宅司郎, 伊東茂壽  
(堀場製作所 医用システム開発部)
- 11:30 A411 ELISA 法を用いた残留農薬簡易分析におけるハウレンソウの測定妨害について  
天野昭子, 須賀しのぶ, 澤野定憲 (岐阜県農業技術センター)
- 11:45 A412 ヒロヘリアオイラガ(鱗翅目:イラガ科)が分泌する性フェロモン成分の同定  
沼倉直子<sup>1</sup>, 山本雅信<sup>1</sup>, 安藤 哲<sup>1</sup>, 鈴木俊郎<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>農工大 BASE, <sup>2</sup>岐阜県農技研)

---

B会場(13号館 1321番教室)

---

(9:00 ~ 12:00)

- 9:00 B401 殺ダニ剤シエノピラフェンのラットにおける代謝  
鈴木俊広<sup>1</sup>, 大山智久<sup>1</sup>, 横内敬司<sup>1</sup>, Sara PENKETH<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>日産化学工業, <sup>2</sup>ハンティンドン・ライフサイエンス)
- 9:15 B402 植物成長調整剤ウニコナゾールPのラットにおける代謝の性差  
永堀博久, 富ヶ原祥隆, 金子秀雄 (住友化学 生物環境科学研究所)
- 9:30 B403 殺菌剤バリダマイシンAのラットにおける代謝  
松井正義, 味方和樹, 富ヶ原祥隆, 川村 聡, 金子秀雄  
(住友化学 生物環境科学研究所)
- 9:45 B404 [<sup>14</sup>C]ビスフェノールAの環境水中における光分解運命  
林 靖, 佐藤 清 (残留農薬研究所 化学部)
- 10:00 B405 秋田県夕日の松原において無人ヘリコプターでマツ林に散布されたフェニトロチオンMC剤の飛散状況  
○市川有二郎<sup>1</sup>, 佐々木 碧<sup>1</sup>, 田畑勝洋<sup>2</sup>, 本山直樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>千葉大 園, <sup>2</sup>岐阜県立森林文化アカデミー)
- 10:15 B406 ポジティブリスト制とドリフト対策についてドリフト許容値(DAV)に基づく地域集団的ドリフト対策法  
鷹田秀一 (ホクレン農業協同組合連合会)
- 10:30 B407 スプレーノズルによる農薬散布時に生成する微小粒子の評価法の検討  
小原裕三<sup>1</sup>, 與語靖洋<sup>1</sup>, 石原 悟<sup>2</sup> (<sup>1</sup>農環研, <sup>2</sup>農薬検)
- 10:45 B408 薬液変色紙を用いた農薬の漂流飛散の簡易評価法  
清水克彦<sup>1</sup>, 望月 証<sup>1</sup>, 麻川博良<sup>2</sup>, 久下良太<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>兵庫県立農林水産技術総合センター, <sup>2</sup>ノズルネットワーク)
- 11:00 B409 感水試験紙を用いた農薬ドリフト水量の推定  
市川 健, 小林久俊 (静岡県柑橘試験場)
- 11:15 B410 利根運河水中のアセチルコリンエステラーゼ阻害率の変動傾向  
河上強志<sup>1</sup>, 竹澤 彩<sup>1</sup>, 渡辺栄喜<sup>2</sup>, 石坂真澄<sup>2</sup>, 殷 熙洙<sup>2</sup>,  
小野寺祐夫<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京理科大学薬学部, <sup>2</sup>農業環境技術研究所)
- 11:30 B411 藻類の回復性試験方法の検討  
山崎尚人 (農薬検査所)
- 11:45 B412 水稲用育苗箱処理剤がコオイムシ幼虫に及ぼす影響  
源河正明, 本林 隆, Thai Khanh PHONG, 渡邊裕純 (東京農工大学)

---

C会場(13号館 1331番教室)

---

(8:45 ~ 12:00)

- 8:45 C401 細菌エンドファイトにより誘導される病害抵抗性の解析：植物版プロバイオ  
ティクスの開発研究  
仲下英雄<sup>1</sup>，安田美智子<sup>1</sup>，伊沢 剛<sup>2</sup>，河野晋治<sup>2</sup>，篠崎 聡<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>理研 中央研，<sup>2</sup>前川製作所)
- 9:00 C402 アミド系殺菌剤の探索研究  
阪口裕史，相馬聖人 (住友化学)
- 9:15 C403 植物病原放線菌メロンがんしゅ病菌の自己孢子発芽抑制物質  
青木 友<sup>1</sup>，吉田政博<sup>2</sup>，川出 洋<sup>1</sup>，安部 浩<sup>1</sup>，夏目雅裕<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京農工大 農，<sup>2</sup>九州東海大 農)
- 9:30 C404 アメリカフウロに含まれる抗菌物質の土壌中での青枯病菌抑制効果  
大城 篤<sup>1</sup>，河野伸二<sup>1</sup>，照屋 亮<sup>1</sup>，澤岷哲也<sup>1</sup>，平館俊太郎<sup>2</sup>，  
藤井義晴<sup>2</sup>，夏目雅裕<sup>3</sup>，安部 浩<sup>3</sup> (<sup>1</sup>沖縄県農業研究センター，  
<sup>2</sup>農業環境技術研究所，<sup>3</sup>東京農工大学)
- 9:45 C405 植物防御反応を誘導するフラジェリンペプチドのエリシター活性の向上に寄  
与するアミノ酸残基  
宮下正弘<sup>1</sup>，水野敬志<sup>1</sup>，澤田和敏<sup>2</sup>，宮川 恒<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>京大院 農，<sup>2</sup>出光興産 中央研究所)
- 10:00 C406 2種のレスポンスレギュレータ Ssk1 ならびに Skn7 がジカルボキシイミド・  
フェニルピロール剤の殺菌活性発現に関与する  
泉津弘佑，吉見 啓， 田中千尋 (京都大学農学研究科)
- 10:15 C407 キイロショウジョウバエ脱皮ホルモン受容体リガンド結合部位の発現と精製  
磯貝純美<sup>1</sup>，山口亜佐子<sup>1</sup>，仲庭哲津子<sup>1</sup>，木下誉富<sup>1</sup>，小倉岳彦<sup>2</sup>，  
原田俊幸<sup>2</sup>，中川好秋<sup>2</sup>，多田俊治<sup>1</sup> (<sup>1</sup>阪府大院 理，<sup>2</sup>京大院 農)
- 10:30 C408 キノリン類縁体の合成および脱皮ホルモン受容体に対する結合親和性  
原田俊幸，中谷恵梨子，中川好秋，宮川 恒 (京大院 農)
- 10:45 C409 非ステロイド型脱皮ホルモンアゴニストの構造活性相関  
ジベンゾイルヒドラジン架橋部分の構造変換  
増本 覚，橋田繁輝，原田俊幸，中川好秋，宮川 恒 (京大院 農)
- 11:00 C410 オキシム型ホスフェート類縁体の合成と生物活性  
船田吉昭，実光 穰，宮本 徹 (東京農大 生物応用化学)
- 11:15 C411 糸状菌由来の新規β-N-acetylglucosaminidase 阻害剤  
仁戸田照彦<sup>1</sup>，豊岡実穂<sup>1</sup>，臼木博一<sup>1</sup>，奥田 徹<sup>2</sup>，神崎 浩<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>岡山大院 自然科学，<sup>2</sup>玉川大 学術研)
- 11:30 C412 農植物保護液「アグリクール」の殺虫活性と有効成分の検討  
橋爪直樹，木村真理子，本山直樹 (千葉大 園)
- 11:45 C413 樹幹注入松枯れ防止剤：マツガードの処理時期の検討  
田中啓司<sup>1</sup>，一ノ瀬礼司<sup>1</sup>，本間豊邦<sup>2</sup>，白石友紀<sup>3</sup>，大林 崇<sup>1</sup>，  
横井進二<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>三共アグロ 農業科学研究所，<sup>2</sup>三共緑化，<sup>3</sup>岡山大学農学部)